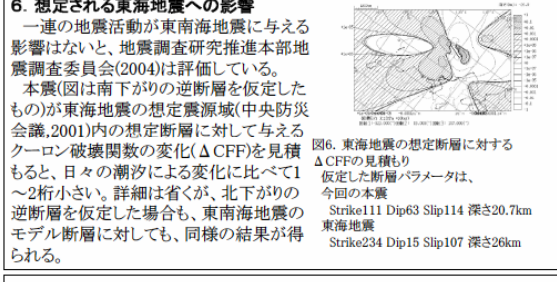
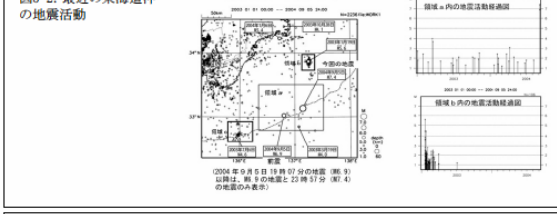
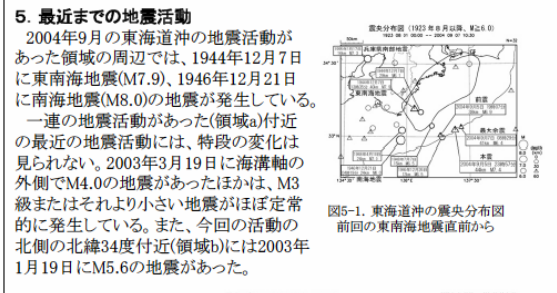
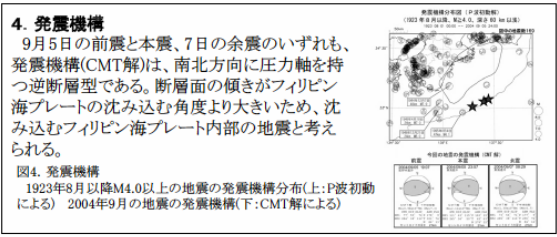
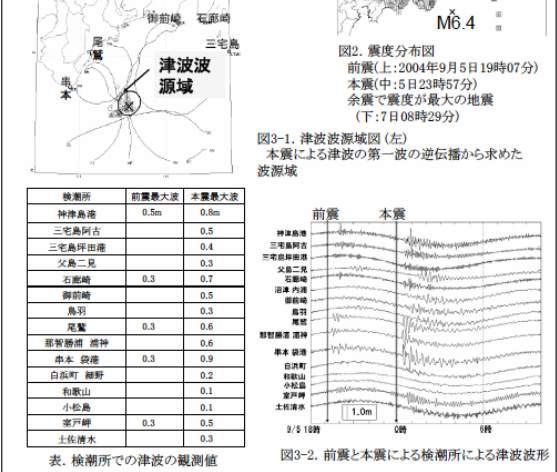
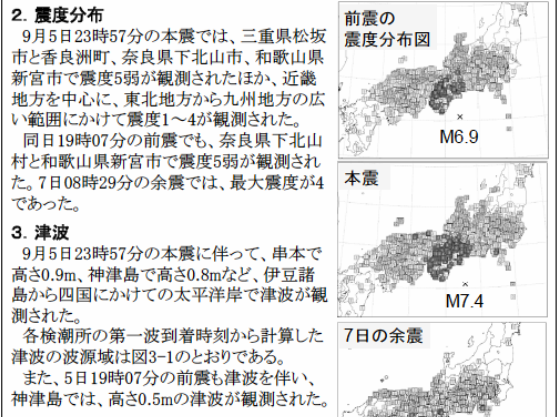
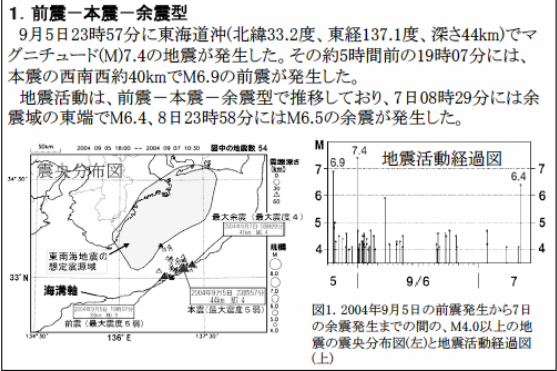


[講演要旨] 2004年9月5日の紀伊半島沖の地震活動について

林 豊 (気象庁気象研究所)

2004年9月5日23時57分に東海道沖でマグニチュード(M)7.4、最大震度5弱で津波を伴った地震が発生した。地震活動は、前震-本震-余震型で推移している。気象庁の観測成果・解析結果をもとに、一連の地震活動とそれに伴った現象、この地域の過去の地震活動、想定されている東海地震への影響評価について、速報する。(一部の観測値・解析結果には暫定値が含まれており、確定値は地震・火山月報を参照されたい)
また、1899年3月7日の紀伊大和地震は、今回の地震と似た震度分布を示すことなどから、注目すべき地震であることを指摘する。



謝辞

本報告は、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人(産業技術総合研究所、防災科学技術研究所、海洋研究開発機構)、国土院、神奈川温泉地学研究所、東京都、青森県、静岡県、横浜市及び気象庁のデータを基に作成した資料を含んでいる。

引用文献

- 中央防災会議東海地震に関する専門調査会(2001):中央防災会議東海地震に関する専門調査会報告,9p+付図.
- 中央気象台(1903):明治三十二年中央気象台年報 第二編地震部/頁,86p.
- 地震調査研究推進本部地震調査委員会(2004):紀伊半島南東沖の地震活動の評価(平成16年9月6日).
- 気象研究所(2004):東南海地震直前の紀伊半島周辺の地震活動の特徴と今回の紀伊半島沖地震について.地震予知連絡会提出資料.
- 宇佐美龍夫(2003):最新版日本被害地震誌[416]-2001,東京大学出版会,239-240.
- 保田柱二・小平孝雄(1938):東京地震観測(明治5年9月-大正12年12月),56-57.